

# 逆走ニッポン

## 識者からの直言 ④

来年度予算はばらま  
果を高める知恵を絞る必要  
きの羅列になる勢いです。  
「政治家がばらまきに走  
る背景には格差問題がある  
が、一人ひとりの生活が良  
くならないと感じる真因は  
経済が成長していないこと  
と。上と下の差ではない。議  
論するための指導理念と  
成長戦略が風前のともしび  
になり、国民は将来に希望  
が持てない。それを為政者  
はき違えている。誰が政  
府の余裕を担っても、国にお  
金の余裕はない。限られた  
予算の使い方を工夫して効  
ないかぎり、海外投資家の

### 早大大学院教授 川本 裕子氏



小泉政権で道路公社民営化の推進委員。その後のホールディングスなどの社外取締役も務める。

## 地方、ばらまくほど疲弊

みは都市住民の反発を招く。地方のどこにお金がかかっているのか、交付税、地方税、地方債をセットで制度点検してからの話だ」

「高齢者医療費の負担引き上げ凍結や道路財源の使い切り計画はいずれも国民全体の負担で特定の利益集団を優遇するとう、来た道への回帰だ。旧来型の財政運営では経済がもたない」と自覚したからこそ、二〇一〇年からの構造改革を推進してきたのではないかと、財政のつじつまが合わなくするのは明白で、その結果、消費税増税が必要だと言われても受け入れ難くないのか、交付税、補正予算編成でも、災害復旧の名の下に要求官庁がばらまきの財政支出を潜り込ませないか」

### 都市に若者流出

「弱者への目配りは聞かぬが、反対する人もいない。その論調に合わせる自分たちの既得権益が侵されるのを恐れる勢力が改革への反対論を叫んでいる。は旧式の財政運営が必要と考えが強いようです。普通市民も格差という言葉を使うことが多いが、それは自分たちが成長していない、将来への展開が見えない、という状態を「格差」という単語に集約させているのではないかと。政治家もその延長線上で一緒に議論している」

### 自立できぬ農家

日本売りは止まらない」

「農業や医療、公共事業などは、族議員が水を得た魚のようです。個別農家への所得補償は農業の担い手として最終

「個別農家への所得補償は農業の担い手として最終

「政府のお金を地方の農協や建設業へ流し続ける」と若者の都市部への流出がさらに加速して、地方はますます疲弊の度を強めてしまふ。古い仕組みにしがみつきたいと思う若者は少なく、むしろ地方に残るこ

（聞き手は 編集委員 大林尚）